

【全国初】「聴覚障害理解アニメ教材」を無償提供 9 月 23 日「手話言語の国際デー」にあわせ公開



一般社団法人 手話エンターテイメント発信団 oioi(大阪市東淀川区、代表理事：岡崎伸彦)は、2025 年 9 月 23 日(火・祝)「手話言語の国際デー」に合わせ、聴覚障害理解を目的としたアニメ教材「難聴者のきこえ方なんなん？(1 本)」「難聴者の困りごとなんなん？(6 本)」を**無償公開**いたします。小学校 3 年生以上を対象に、福祉教育や総合学習の授業での活用を想定し、授業で使えるマニュアルも用意。子どもたちが困りごとに気づき、他者の意見に耳を傾ける中で“ちがい”(難聴者との違い・同じ教室で学ぶ仲間の考え方の違い)を受けとめ他者と関わり共に過ごす力を育みます。教育とエンタメを融合した全国初の教材をここ大阪から発信してまいります。

公開情報：9 月 23 日(火・祝) oioi の YouTube チャンネル <https://www.youtube.com/user/oioi0movie>

教材の内容・授業の流れ・支援・活用に関して

- 映像：難聴について学べる動画(1 本)と、難聴者が直面する困りごと(6 本)。困りごと映像は、主に学校生活を描き「先生の口元が教科書で隠れて話が分からない」など授業中や休み時間など 1 本につき 3 つのシチュエーションを収録。各場面における困りごとにはどんなものがあるのかを考える構成です。
(※映像詳細は別紙①参照)授業では、映像をきっかけに困りごとの解消方法を話し合う流れとなる。
- 授業形式：導入(5 分)→映像視聴と個人ワーク(10 分)→グループワーク(20 分)→共有と振り返り(10 分)
- その他支援：スムーズに授業に取り入れられるよう、進め方マニュアルを用意し、授業設計の負担を軽減。
(希望者は申請のうえ、ダウンロード可能です。)また、実際に活用した先生方の指導案や実践例を集め、他の方が参考にできるようホームページで共有予定。
- 活用方法：学校での障害理解学習だけではなく、難聴児本人が自分の困りごとを伝えるツール、先生方や保護者の当事者理解を促すきっかけとしても活用可能。

先生方の声(本教材制作中、複数の小中学校にて授業を実施)

「マニュアルがあるので聴覚障害に詳しくなくても安心して授業ができる」「難聴児のいるクラスで使用。本人含め児童の食いつきが良かった」「困りごとや対応について翌日も自分の考えを伝えてくれたのが印象的」

<制作体制>

協力：一般社団法人 言葉のかけはし 同法人の企画作品「なんちようなんなん」のイラストを引き継ぎ制作

制作：KOO-KI(空気株式会社) アニメや CM で国内外から高く評価され、社会的テーマを伝える映像制作にも定評がある

※本映像は 2024 年春に実施したクラウドファンディングにて支援を受け制作。(支援額 3,799,000 円、目標達成率：189%、支援者 539 名)

<団体概要>

一般社団法人 手話エンターテイメント発信団 oioi (大阪市東淀川区／2016 年設立／代表理事：岡崎伸彦)手話とエンターテイメントを融合した「エデュテイメント」を通じ、全国で人権講演などのワークショップを展開。ホームページ：<https://www.oioi-sign.com/>

<本件に関するお問い合わせ>

一般社団法人手話エンターテイメント発信団 oioi 広報担当 高口 TEL：06-6829-6824 MAIL：press@oioi-sign.com

参考資料：教材画像資料「難聴者のきこえ方なんなん？(1本)」「こまりごとなんなん？(全6本)」

1. 「きこえ方なんなん？」では、アニメーション・音声・ルビ付き字幕を用い、代表的な難聴の聞こえ方を紹介します。補聴器をつけていても雑音で聞き取りにくいなど、誤解されやすい実態を映像で可視化し、子どもたちが多様な聞こえ方を理解するきっかけとなります。

▼伝音難聴と感音難聴の特徴と、補聴器の効果について(監修：一般社団法人 言語聴覚士協会)



2. 「困りごとなんなん？」では、教室や休み時間など日常のシチュエーションに沿った様々な困りごとをアニメーションで描いています。見るだけでは気づきにくい困りごと、ヒントで着眼点を示すことで子どもたちが自然に理解を深められる内容になっています。

▼授業編 授業中にクラスのお友達が色々な所から話をしても分からないという状況。「なぜ分からないのか」を子ども達に考えてもらう。(例：後ろからの声は分からない。口元が見えない位置にいる。席が遠いと声が小さくなって分からない。など)その後授業では、映像をきっかけに困りごとの解消方法を話し合う構成となる。



＜本件に関するお問い合わせ＞

一般社団法人手話エンターテインメント発信団 oioi 広報担当 高口 TEL：06-6829-6824 MAIL：press@oioi-sign.com